

新型コロナウイルス ロックダウン下での生産状況のまとめ

国内在庫とマレーシアの影響

株式会社サンエース 2021年1月



「ロックダウン発令、原料供給は大丈夫？」

昨年、多くのお客様よりお問合せ頂きました。

幸いご迷惑をお掛けする事はなく、

マレーシア工場は4月中旬には再稼働しました。

当時の状況をまとめます。



日本国内在庫の状況（2020年）

- ① 世界的な警戒感もあり、年始より2ヵ月分の在庫積み増しを実施。
- ② 合計9ヵ所の倉庫在庫を確認し、各倉庫間のバックアップ体制を確認。

※汎用品を中心に保管する主要倉庫は4拠点、専用品の門前倉庫は5拠点あります。

この結果、海外工場の操業制限・停止時点での在庫量は…

- ✓ 国内倉庫には、汎用品：3ヵ月分 専用品：5ヵ月分
- ✓ 移動中のコンテナには、さらに追加でほぼ1ヵ月分

そして、次のステージ「生産再開後の需要急増」へ向けて「日本向け出荷を優先すること」と致しました。

マレーシア工場の状況（時系列）

3月中旬 ロックダウン発令と**操業停止**命令

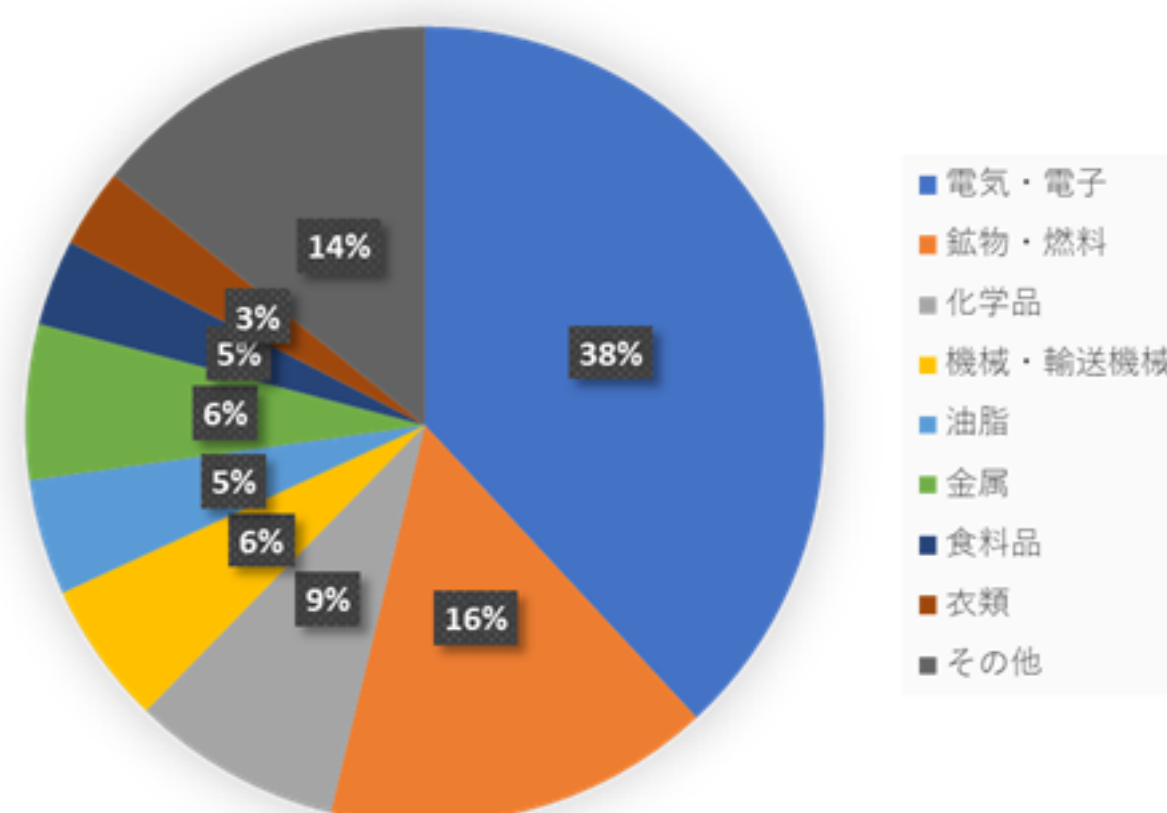
4月中旬 当局より**制限付き操業許可**（出社人数制限あり）

5月上旬 条件付き活動制限令（RMCO）への移行と経済活動の再開

Q. 「なぜ、RMCO移行に先立ち、部分操業再開ができたのか？」

A. 「**オレオケミカル産業**は、マレーシアの**主要産業**であるため。」

マレーシア輸出統計



左のグラフは2018年のマレーシアの輸出品目です。（マレーシア統計局）

輸出品目の3位に化学品、5位に油脂が含まれています。化学品の中には金属石鹼など油脂由来の製品も含まれます。世界トップの油脂産業国で、国策としてパーム油脂の産業化に取り組んでいる国です。

マレーシア工場の部分操業は4月中旬でしたが、実は、ステアリン酸等の製造工場はこれより早く制限付き操業再開となっていました。

(参考) シンガポール工場の状況 (時系列)

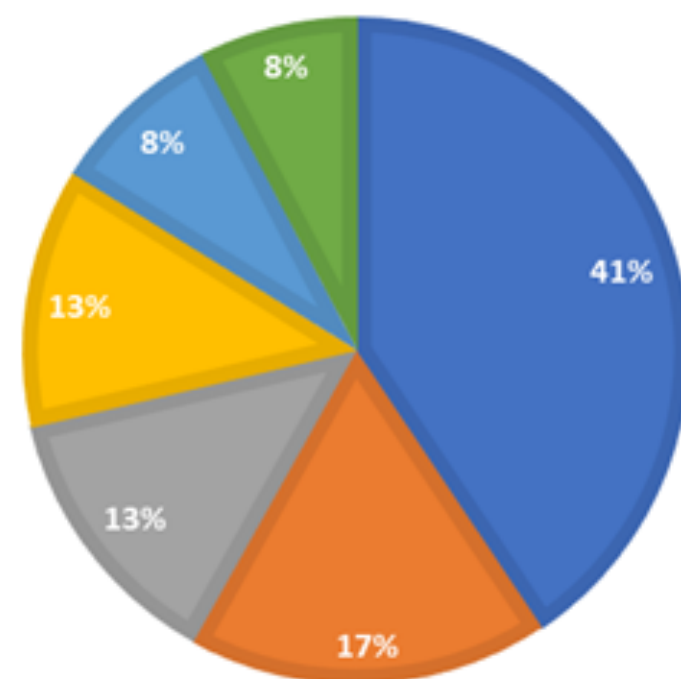
4月上旬 サーキットブレーカー発令と操業制限 (出社人数制限)

※幸い操業停止には至りませんでした。

6月上旬 サーキットブレーカー解除とビジネスの段階的再開

シンガポール製造業のGDP構成比

■電気・電子 ■医薬 ■化学 ■精密機械 ■輸送機械 ■その他製造



左のグラフは2018年のシンガポール製造業のGDP構成比です。(シンガポール通商産業省)
製造業全体の13%を占める重要な産業です。製造業全体では21%弱を占めており、観光・金融のイメージがありますが、実は大規模な化学プラントを抱える化学産業国でもあります。
製造業の重要度は、サーキットブレーカー下でも完全な職場閉鎖とならなかった要因だと思われます。

厳しい制約で生産活動が制限された一方で、

状況に応じた「保管在庫の積み増し」

マレーシアにおける「産業としての重要度」

が安定供給に有益な事も再確認しました。

今後とも自信をもってお届けして参ります。

「サンエースの輸入金属石炭」